

科目名	情報工学Ⅱ	英語科目名	Information Engineering Theory II
開講年度・学期	平成 22 年度・通年	対象学科・専攻・学年	電気情報工学科 2 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	小林幸夫	居室 (もしくは所属)	電気物質棟 2 階
電話	小山高専市外局番+2226	E-mail	ykoba@小山高専ドメイン
授業の達成目標			
1. Visual Basic を用いた基本的なプログラムを作成、実行することができること。 2. プログラムの制御構造について説明できること。 3. 各種プロシジャを使用できること。 4. グラフィックスの表示原理を説明できること。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1～4 : 年 4 回の試験において 60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
評価は下記のように総合して行う。 1. 年 4 回の試験 (80%) 2. 課題 (実習課題完成度および提出レポート) (20%)			
授業内容			
1. ガイダンス、Visual-Basic.NET 起動・終了方法			
2. プログラムとプログラミング言語			
3. 文字の表示、プログラムの実行・終了・保存、簡単な計算			
4. 変数の使い方、関数計算			
5. 2 章演習問題			
6. 構造化プログラミング If 文 (1)			
7. 構造化プログラミング If 文 (2)			
8. (前期中間試験)			
9. Select Case ステートメントによる分岐			
10. 例外処理			
11. 3 章演習問題			
12. For Next 制御構造による繰り返し処理			
13. 二重ループ、Do Loop 構造による繰り返し処理			
14. 4 章演習問題			
15. 配列を使ったプログラム例			
(前期期末試験)			
16. 前期期末試験問題解説			
17. 干支と星座を求めるプログラム			
18. カレンダー作成プログラム			
19. 5 章演習問題			
20. サブルーチンプロシジャ			
21. Function プロシジャ			
22. 6 章章末問題			
23. (後期中間試験)			
24. テキスト入出力のコントロール、ボタンによるコントロール、タイマーコントロール			
25. リストによるコントロール、ピクチャコントロール			
26. 7 章演習問題			
27. クラスライブラリ、8 章演習問題			
28. グラフィックス			
29. アニメーション			
(後期期末試験)			
30. 前期期末試験問題解説			
キーワード	Visual Basic、プログラミング言語		
教科書	若山芳三郎著「学生のための Visual Basic.NET」東京電機大学出版局		
参考書	山住、森、小池共著「理系のための Visual Basic 実践入門」技術評論社		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	⑤		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準 1 の (1) との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	情報工学 I		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目	情報工学 III		
連絡事項			
1. プログラミング技法を修得するとともに、論理的思考能力を高めることを期待する。 2. 講義を最初に行い、関連した課題を実際に Visual Basic を用いてプログラムを作成する。 3. 学習の達成度は、課題の閲覧チェック状況、演習問題の閲覧チェック時に伝える。 4. 講義時間以外でも質問がある場合は応じる。 5. 講義時間以外に演習問題を行う場合は、情報センター演習室の利用規則に則ること。			
シラバス作成年月日	平成 22 年 2 月 27 日		